



Data

監督: ケイシー・レモンズ
出演: シンシア・エリヴォ/レスリー・オドム・Jr. / ジャネール・モネイ/ジョー・アルウィン/ジェニファー・ネトルズ/ヴァネッサ・ベル・キヤロウェイ/クラーク・ピーターズ/ヘンリー・ハンター・ホール/ザカリー・モモア/ミッチェル・フーグ/デボラ・アヨリンデ/ヴォンディ・カーティス=ホール

👁️👁️ みどころ

ハリエットって誰？黒人奴隷アンクル・トムは知っているも、オバマ政権下で20ドル紙幣の顔になることが決定していた、この黒人女性の名前を知っている日本人は少ないだろう。

前半のハイライトは奴隷州から自由州への逃亡劇だが、なぜそんなことができたの？そして、地下鉄道とは？車掌とは？

全米で人種差別に抗議する大規模デモが広がっている今、本作の公開は実にタイムリー。南北戦争直前の米国の分断ぶりを、「伝記モノ映画」である本作からしっかり学びたい。

自由とはナニ？そして、それは如何にして勝ち取るの？



■□■ハリエットって誰？■□■

本作は原題が『HARRIET』なら、邦題も『ハリエット』。「ハリエット」とは、ハリエット・タブマンという女性黒人の名前だが、多くの日本人と同じように、私はその名前を聞いたことがない。そんな映画がなぜ今作られたの？

チラシによると、本作は「生涯で800人以上の奴隷解放を手助けし、南北戦争では黒人兵士を率いて戦った。米ドル新紙幣に採用された史上初のアフリカ系アメリカ人、知られざる真実の物語。」で、「誰もが生きる厳しさを感じる現代こそ観て欲しい、不屈の精神と明日を見据える真実の物語。」だそうだ。また、「彼女は一度も失敗せずに奴隷から英雄になった。」らしい。さらに、シンシア・エリヴォは第92回アカデミー賞主演女優賞に、彼女が歌った「スタンド・アップ」は歌曲賞にノミネートされたそうだ。

したがって、こりゃ必見！私はずっとそう考えていたが、コロナ騒動のため公開が延期。

そして、その間に読んだウィキペディアでは、「批評家からの評価は平凡なものに留まっている」と評価されていたため、一時的に「パス」していたが、やっぱり6月21日に鑑賞。

■□■たまには単純な伝記映画も！■□■

同日に観たスペインの巨匠・ペドロ・アルモドバル監督の『ペイン・アンド・グローリー』（19年）は新聞紙評で絶賛されていたが、本作の評価は低かった。鑑賞したところ、たしかに本作はハリエットという黒人女性の「伝記映画」になっており、映画としての演出や工夫はイマイチ。その点、『ペイン・アンド・グローリー』とは大違い。そう思わざるを得なかった。

しかし、たまにはそんな単純な（？）伝記映画があってもいいのでは？だって、本作によって、私ははじめてハリエットという黒人女性の真の姿（？）をスクリーン上で観ることができたのだから。

■□■折りしも、全米では人種差別抗議デモが激化！■□■

全米では5月25日にミネソタ州ミネアポリスで黒人男性が警察官に取り押さえられて暴行死した事件を契機として全米で一気に人種差別抗議デモが拡大し、6月12日に発生したジョージア州アトランタでの警察官による黒人男性への射殺事件は更にこれを加速させた。また、映画ベスト100で常にトップに立ち、「タラのテーマ」があまりにも有名な『風と共に去りぬ』（39年）が黒人差別だとして、米国の動画配信サービス「HBO マックス」から一時排除されたのも驚きだ。

他方、南北戦争終結後の1865年6月19日に、奴隷解放を掲げた北軍の将軍が南部テキサス州で奴隷制撤廃を宣言したことにちなんで設けられたのが「奴隷解放記念日」。その6月19日には、首都ワシントンで平和的なデモに加え、歌ったり踊ったりする人々も目立ったが、夜になると、奴隷制維持を掲げた南軍の将軍の像が「人種差別の象徴」などとして引き倒される騒ぎも起きたようだ。

本作はそんな状況下で公開されたから、人気は急上昇？一瞬そう思ったが、残念ながら劇場内はガラガラ。

■□■日本が樋口一葉なら、米国はハリエット！■□■

日本では、2004年11月から樋口一葉の肖像がそれまでの新渡戸稲造に代わり、5000円紙幣の表面に採用された。これは女性初の快挙だが、対して米国は？

2009年1月には、バラク・オバマが黒人初の大統領に就任したが、その在任中の2016年4月、ジェイコブ・ルー前財務長官は、多くのアメリカ人の人生を変えたハリエットの功績を讃えるために、彼女の肖像を新20ドル紙幣のデザインに使用すると発表した。パンフレットではその経緯が詳しく紹介されている。ところが、何と2019年6月には、トランプ政権下の財務長官スティーブン・ムニューシーンが20ドル札の刷新を2028年に延期すると発表したから、アレレ。ここにも、米国における共和党と民主党の対立が露わに！

そう考えると、2020年11月の大統領選挙で、トランプが民主党のバイデン候補に敗れたら、再びハリエットが新20ドル紙幣の顔として登場してくるかも・・・？

■□■本作の舞台は？黒人奴隷もいろいろ！■□■

黒人奴隷の物語として最も有名なものは、私が小学生時代に読んだ『アンクル・トムの小屋』。その舞台はアメリカ南東部のケンタッキー州だった。また、『タラのテーマ』で有名な『風と共に去りぬ』の舞台であるアトランタもアメリカ南東部のジョージア州にある。アメリカの奴隷制度と聞けば、多くの日本人はそんなアメリカ南部の綿花畑で鞭打たれながら働く黒人をイメージしてしまう。

それに対して、本作を観れば、ハリエットが生まれ育った米国最南東部の小さな州メリーランド州における黒人奴隷の実態がよくわかる。パンフレットには、上杉忍氏（横浜市立大学名誉教授）の4頁にわたる「映画『ハリエット』とハリエット・タブマン」があり、そこでは、奴隷制のあれこれ、すなわち自由黒人や奴隷の貸し出し、期限付き奴隷、売却、白人奴隷主の間の対立等の実態が詳しく解説されているので、本作の鑑賞にはその勉強が不可欠だ。

■□■奴隷州から自由州への逃亡はまさに奇跡！■□■

本作前半のハイライトは、グリーン牧師（ヴォンディ・カーティス＝ホール）のアドバイスがあったとはいえ、夫のジョンや家族たちと決別し、たった1人徒歩で奴隷州のメリーランド州から自由州のペンシルベニア州へ逃亡していくハリエットの姿。多くの応援を連れて奴隷主のギデオン・ブロードラス（ジョー・アルウィン）が馬に乗り犬を連れて追跡してくるのだから、捕獲は必至。誰もがそう思うし、現にハリエットは絶体絶命の状況下、捕獲されるか、それとも自殺覚悟で川の中に身を投げるかの選択を迫られたが、そこでの決断は？そして、その後の展開は？

本作不評の原因の1つは、ハリエットが神の声を聞くことができることを正式に認め（？）、それをスクリーン上に再三登場させていること。これは、小さい時に分銅を頭にぶつけられて負傷し、生涯、睡眠発作（ナルコレプシー）の後遺症が残ったという「史実」を逆手に取った演出だが、さて、その演出は如何なもの？

それはともかく、あの時代、長いスカート姿で、ひょっとして靴も履かないまま、徒歩で奴隷州から自由州へ歩いて逃亡できた（一部は急流で流された）のは奇跡という他ない。ちなみに、ハリエットの逃亡の後、「モーゼ」と名乗る何者かが奴隷州から自由州への奴隷の逃亡を支援するようになったため、翌1858年には南部で逃亡奴隷法が成立することに・・・。

■□■地下鉄道とは？車掌とは？■□■

2011年12月の橋下徹大阪市長の登場によって大阪の地下鉄は民営化され、すばらしく発展した。しかして、本作後半はメリーランド州の奴隷主ギデオン・ブロードラスが支配するブロードラス農場から北部のペンシルベニア州へ無事に脱出し、自由を獲得したハリ

エットが、地下鉄道の車掌として働く姿に移っていく。あの南北戦争直前の時代のアメリカに地下鉄があったの？そんなバカな質問は厳禁。本作にいう地下鉄道とは逃亡奴隷を助ける秘密組織のこと。そして、車掌とは逃亡の誘導係のことだ。

ハリエットが逃げ込んだペンシルベニア州フィラデルフィアで地下鉄道の中核で働いていたのが自由黒人のウィリアム・スティル（レスリー・オドム・J r.）。ハリエットの世話をした自由黒人の女性がマリー・ブキャナン（ジャネール・モネイ）だ。ハリエットは、自分が自由黒人になれたことで満足せず、離反した家族を再び一つにするべく、密かに再びドーチェスターに戻り、家族や仲間の奴隷たちを助けるべく、地下鉄道の車掌としての活動を開始した。その結果、ハリエットが奴隷州と自由州を往復した数は10回を越え、助けた奴隷の人数は1860年までに70人以上。彼女は一度も失敗したことがなかったらしい。本作後半はそんなハリエットの地下鉄道の車掌としての獅子奮迅の働きをしっかりと確認したい。

■□■女だって短銃を持てば！■□■

タランティーノ監督の『キル・ビル（～KILL BILL～Vol.1）』（03年）（『シネマ3』131頁）、『キル・ビル（～KILL BILL～Vol.2）』（04年）（『シネマ4』164頁）のヒロイン「ザ・ブライド」は日本刀がよく似合った。それに対して、「ナシゴレン・ウェスタン」と銘打った、インドネシア映画『マルリナの明日』（17年）では、剣ナタを持った強いヒロインにビックリ（『シネマ45』311頁）。

それと同じように（？）、本作でハリエットが車掌として活躍するについては、一丁の短銃が大きな役割を果たしている。そしてそれは、本作後半、地下鉄道の車掌として危険な任務にのめり込み、奴隷主のプロードスや、逃亡奴隷を捕獲するために彼が雇った自由黒人のビガー・ロング（オマー・J・ドージー）らの追及の前で、さらに重要な役割を果たすので、それに注目！

映画では憎き相手を殺すのではなく、生きたまま捕らえることに固執する姿がよく登場する。しかし、そんなことにこだわると、結果はうまく捕獲できないばかりか、逆に自分が捕獲されてしまうケースが多い。まさに本作もそれで、ギデオンはハリエットを撃ち殺そうとしたビガーを自分の銃で射殺した挙句、あえなく待ち伏せするハリエットに自分が捕獲されてしまったから、アレレ。

本作では、このラストシーンで勝者となったハリエットの動静に注目。もちろん、そこでギデオンを撃ち殺すことは簡単だが、そこでのハリエットの行動は？そんなカッコいいシーンから、ラストの感動的なシークエンスまで、本作の醍醐味をタップリと味わいたい。

2020（令和2）年6月29日記